



市民公開講座実施レポート(9月開催分)

9月13日(金)に、当院・管理棟4階の大講堂で、市民公開講座「どうやったら延びる!? あなたの健康寿命」を開催しました。

講座は、整形外科長による「健康寿命とは何か?」というおはなしからスタート。骨粗しょう症、膝関節の痛みと治療方法など、最新情報や事例を交えて解説しました。

医療情報以外にも、保健師による「フレイル予防のセルフチェック」や管理栄養士による「栄養バランスのよい食事の工夫」など、日常生活で実践できることを、いろいろとお伝えしました。

理学療法士による「健康体操レッスン」では、軽快な曲に合わせて、足を上げたり、腕を振ったり、ストレッチと運動を参加者全員で実践。「話を聞くだけでなく、体も動かして楽しかった」と、大変ご好評をいただきました。



新型コロナウイルス感染拡大の影響から、約5年ぶりの開催となりましたが、非常にたくさんの方にご来場いただきました

今後のスケジュール 最新情報は、随時、病院ホームページに掲載します。

令和7年 1月17日(金)	知って備える!! “足”のメンテナンス ちょっとした足の傷でも、ときには重大な事態につながります。「足の傷の正しい対処と予防」について、当院フットケアセンターの面々が、様々な角度から解説します。
3月14日(金)	仮題 がんについてもっと知ろう『肺がん』
5月	仮題 定期的な受診が健康の秘訣“人間ドックのすすめ”
7月	仮題 この症状はどっちなの!?「認知症」と「せん妄」



横浜市立市民病院

診療
受付

月曜日から金曜日

(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診)

- 初診の方 午前8:00～11:00 (診療開始8:45)
- 再診の方 午前8:00～11:00 (診療開始8:45)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1 ☎ 045-316-4580 (代)



救命救急センターでの受診について

- 平日 日中 原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日 必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。

初診の方は、紹介状をお持ちください

- 当院は「地域医療支援病院」に指定されており、他の保険医療機関等(かかりつけ医)と役割分担・連携して患者さんを診ております。
- 初診の方やはじめての診療科を受診される方は、他の保険医療機関等からの「紹介状」をお持ちください。
- 病状が安定しましたら、紹介元のかかりつけ医や当院と連携している医療機関などに、その後の診療をお願いさせていただきます。
- 初診時に紹介状がなく受診された場合、保険診療の自己負担金のほかに、保険外併用療養費(選定療養)として、7,700円(税込)をお支払いいただいております。

編集・発行:横浜市立市民病院 編集協力:ブランケットクリエイティブ 発行日:2024年12月 無断転載禁止

掲載写真について:新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に講じた上で、写真撮影時のみマスクを外しています。ご理解いただきますようお願いいたします。

PARK HOSPITAL.®

2024

December

TAKE FREE

特集

“新しいいのち”をお母さんとともに育みます
母子医療センター



Vol.42



横浜市立市民病院



“新しいのち”をお母さんとともに育みます 母子医療センター

2020年の新病院移転を機に、産科専用病棟や5室のLDRを整備するなど、一層充実した環境となった市民病院の産婦人科。神奈川県周産期救急医療システムでは中核施設に位置付けられ、地域周産期母子医療センターとして高度な医療を提供しています。その特徴について、センター長を務める倉澤医師(産婦人科長)と、副センター長を務める松崎医師(小児科長)、産婦人科病棟の河合看護師長(助産師)、NICU・GCU病棟の菅看護師長の4人に聞きました。



産婦人科病棟 師長
助産師
河合 昭世
Akiyo Kawai

母子医療センター長
産婦人科長
倉澤 健太郎
Kentaro Kurasawa

母子医療副センター長
小児科長
松崎 陽平
Yohei Matsuzaki

NICU・GCU師長
菅 由美子
Yumiko Kan

01 市民病院の母子医療センターとは、どのような組織ですか。

倉澤:安全で高度な周産期医療の提供を使命として、妊娠から出産、そして産後ケアまで、切れ目なくサポートできる体制を整えたセンターです。スタッフの数でも、産婦人科医14人、小児科医14人、看護師・助産師74人と県内でも有数の規模(2024年10月現在)で、産科救急や新生児搬送も多く受け入れています。

松崎:産婦人科医と小児科医が密に連携し、産前から情報共有していることが特徴の一つ。生まれてきた赤

ちゃんにケアが必要な場合も、事前に予測を立てながら迅速に対応しています。また、眼科や整形外科など、多様な診療科と協力し合えることも、総合病院ならではの強みでしょう。さまざまな合併症を抱える妊婦さんの出産を支えたり、赤ちゃんに専門的な治療を提供したりすることも、大変スムーズです。

02 出産に関する設備や、地域連携についてはいかがですか。

松崎:温かな雰囲気のあるLDR(陣痛から出産、その後の回復に至るまで過ごせる部屋)は、移動せずにプライバ



シーを保ちながら出産に臨めるということで、多くの妊婦さんが利用しています。また、新型コロナウイルス感染症などに罹患した場合は、特別な空調管理ができる個室での療養が可能です。NICU(新生児集中治療室)9床、GCU(新生児治療回復室)6床を備えており、ハイリスク分娩にもしっかりと対応しています。

倉澤:「妊婦さんを地域全体で「面」として支えたい」という思いから、妊婦健診についてはセミオープンシステムを推進しています。これは、通いやすい自宅近くの診療所などで普段の健診を受けていただき、出産や緊急時対応は当院が担当するシステムのことです。現在、多くの医療機関と連携しており、当院には、妊娠確定後に紹介状を持参のうえ受診していただくかたちとなっています。

03 妊娠・出産に携わる助産師や看護師の役割について教えてください。

河合:出産前における助産師の主な役割は、妊婦さんへの保健指導、助産師外来、両親学級(対面・オンライン)が中心です。インストラクターの資格を持つ助産師が8人在籍しており、マタニティフィットネスクラスも開催。医療者と顔を合わせる機会を多く設けることは、入院時の安心感にもつながると考えています。その後も、分娩に携わることはもちろん、産後の授乳・育児指導などを通して親身に寄り添い続けます。

菅:NICUは、早産で生まれた赤ちゃんや、呼吸やミルクの飲み方にサポートが必要な赤ちゃんなどが利用します。保育器で酸素マスクを装着したわが子の姿を見て、ショックを受けるご家族も少なくありません。今の段階からお母さん・お父さんにできることを伝えるなど、つらい気持ちが少しでも軽くなるようなサポートを心掛けています。当院のNICUではベッドごとに仕切りが

設けられ、家族の空間を大切にしながら集中ケアに臨むことができます。

04 産後のサポートはどのように行っていますか。

河合:2週間健診で母子の心身の状態を確認するほか、電話相談や母乳外来でも不安の解消に努めています。お母さんには「困ったらいつでも電話してください」とお伝えし、赤ちゃんが泣き止まない、うまく授乳できているか心配といった悩みに24時間対応。頼れる場所があるとお母さんも安心できると思いますので、私たちが「お守り」のような存在になればと考えています。

菅:NICUでは、どうしてもお母さんと赤ちゃんが離れている時間が長くなりがちなので、必要に応じて退院訓練室でロング面会を実施し、自信を持って育児に臨めるようサポートしています。小さく生まれた赤ちゃんならではの個性を事前に知ることが、退院後の不安も和らげてくれるはずです。また、NICUフォローアップ外来を行い、退院後もNICUのスタッフが寄り添い続けることを意識しています。

05 最後に、市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

倉澤:女性を取り巻く社会環境が大きく変化しており、妊婦さんの抱える悩みも多様化しています。当院では、リスクを抱えながらの出産にも万全の体制で応じ、産後のサポートも一層充実させていく考えです。お産自体は子育ての出発「点」ですが、継続的に関わることで「線」に、そして多職種や地域で支えることで「面」となります。あらゆる出産に対応しておりますので、安心して当院を受診していただければと思います。





安全で快適、不安のない出産をサポート 市民病院での出産の特徴

01	高度な医療設備や専任スタッフが充実しており、あらゆる出産に安全に対応できる体制を整えています。	02	総合病院であるため専門的な診療科がそろっており、さまざまな病気の治療を受けている方でも安心して出産できます。
03	産婦人科医、小児科医、麻酔科医が、24時間体制で勤務しています。そのため、急遽、帝王切開などが必要となった場合でも、迅速に対応することができます。	04	母体や胎児に何か問題が生じた場合、どういう対応が最善か、いつ出産するのが良いのか、産婦人科医と小児科医、麻酔科医などが、常に協議して方針を決定しています。

安全な出産のための施設

LDR (5室)



プライバシーを配慮した個室空間で、産婦さんの体の負担が少なく、陣痛から分娩・産後数時間までの時期を、快適・安全にお過ごしただけのように設備を整えているお部屋です。医師や助産師も常駐しており、NICUが同じフロアで繋がっているので迅速な対応が可能となっています。パートナーの立ち会い出産もご相談ください。

有料個室 (14室)



洗面台、トイレ、ユニットシャワーを完備しており、Wi-Fi、テレビ、冷蔵庫も無料でご利用いただけます。プライバシーが保たれた空間で、他の患者さんに気兼ねすることなく、お見舞いに来た方とゆっくり過ごしていただけます。

NICU 新生児集中治療室 (9床)



予定日より早く生まれた赤ちゃん、小さく生まれた赤ちゃん、または何かしらの疾患のある赤ちゃんを集中的に治療・管理する場所です。人工呼吸器、保育器、呼吸心拍モニターなどが備えられており、24時間体制で、赤ちゃんの呼吸管理、循環管理を中心とした高度集中治療を行うことができます。

GCU 新生児治療回復室 (6床)



NICUでの急性期治療を終え、状態が安定してきた赤ちゃんが、引き続き治療や看護ケアを受ける場所です(赤ちゃんの体重や状態によって、最初からGCUに入院することもあります)。お住まいの地域で、安心して育児・生活ができるよう、退院に向けて育児環境の調整や育児ケアの支援を行っています。

快適な出産のためのセミオープンシステム

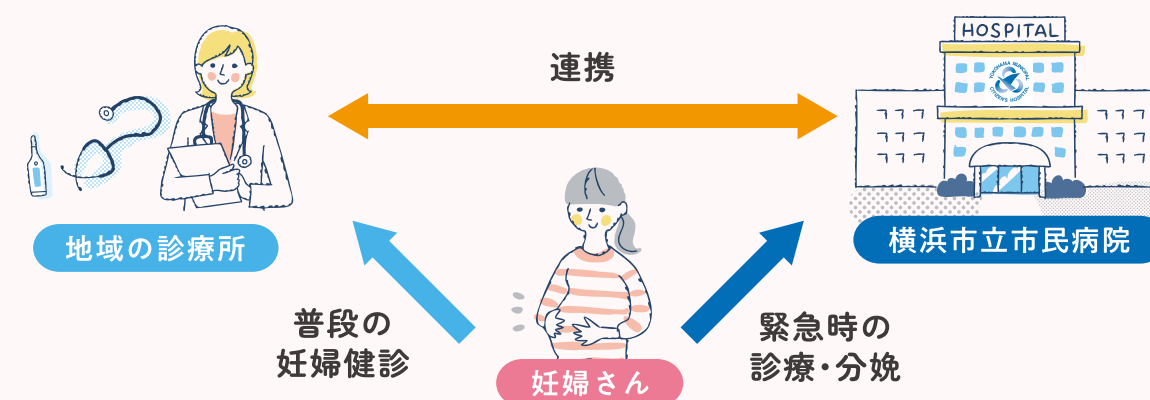


セミオープンシステムとは、診療所(医院・クリニック)と病院が連携する妊婦健診システムです。

妊婦健診は、自宅や職場近くの通いやすい診療所で受け、緊急時の診療や分娩は、専門的体制の整った当院で行います。それぞれの医療機関のメリットを上手に活かしたシステムで、妊婦さんの利便性を保ちながら、安全・安心な出産を実現します。

当院は「初診時紹介予約制」となっておりますので、受診前に紹介状と事前予約が必要です。妊娠したかな?と思ったら、まずお近くの診療所で受診していただき、紹介状をご準備のうえで受診予約いただきますようお願いいたします。

<セミオープンシステム>



満足できる出産のために



マタニティ ヨガ

妊婦さん向けにアレンジされたヨガです。インストラクターは、日本マタニティフィットネス協会の認定資格を持つ当院の助産師が担当します。妊娠中の体に無理のない動きで、お産の時にも使える呼吸法やリラックス法をお伝えしていきます。妊娠中からの体づくりへのアドバイス、不安や疑問などへのサポートも充実させています。



お祝い膳

お母さんと赤ちゃんへ、当院からお祝いの気持ちとして、出産後2日目に、管理栄養士や調理師が心を込めて作った「お祝い膳」をご用意しています。メニューは、やさしい旬の素材を使用したものとなっております。出産後はお母さんの身体を回復させるため、栄養たっぷりのお食事をお召し上がりください。



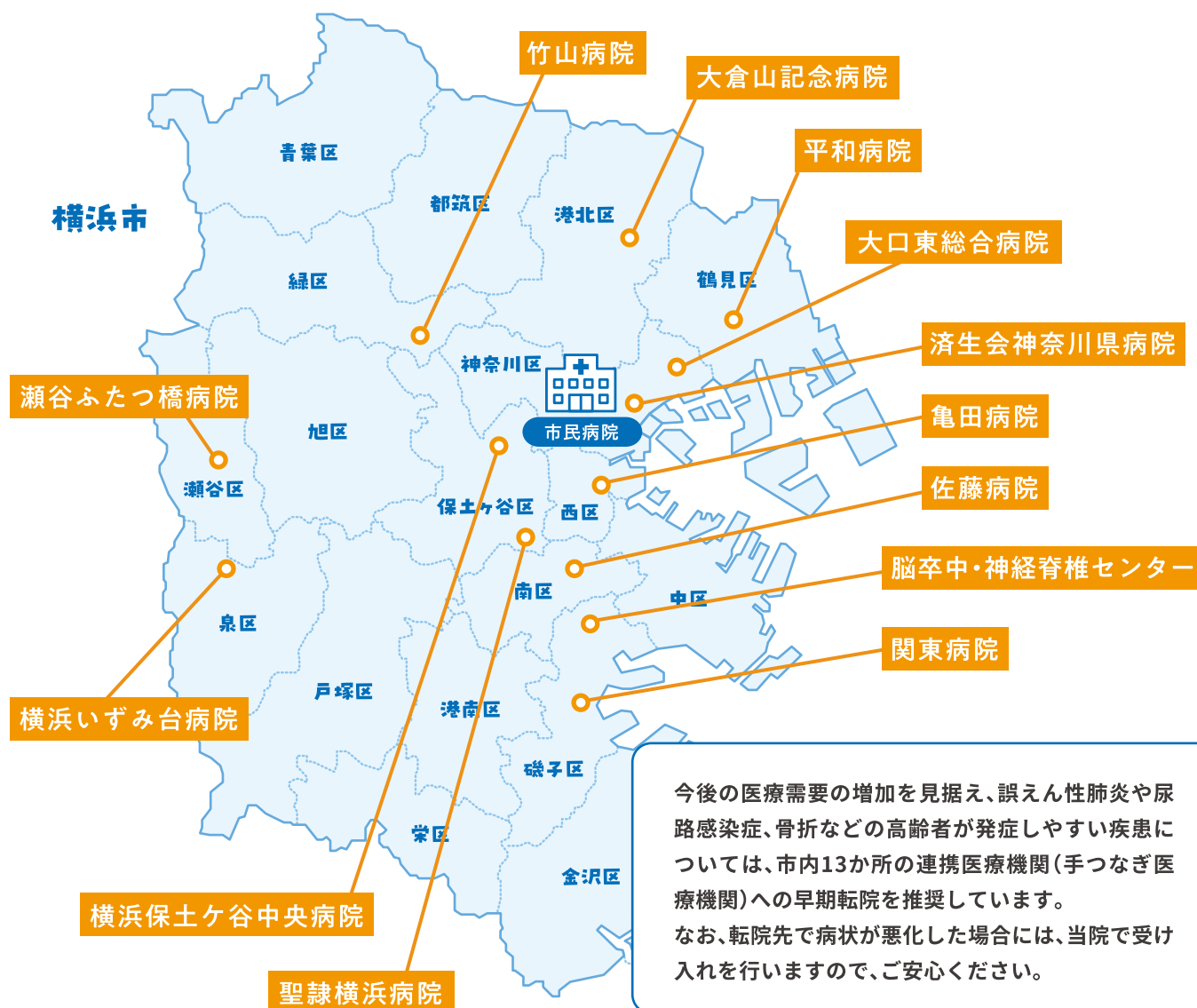
お産・産後ケアの動画はこちら



『手つなぎ』で加速する地域医療ネットワーク

地域医療機関と手を取り合い 連携強化・機能分担を推し進めています

患者さんが、病状や診療内容に応じて切れ目のない適切な診療を受けられるように、地域の各医療機関がそれぞれの特徴を活かし、役割(機能)を分担して治療を行うことで、横浜市の地域医療を支えています。
当院は、地域全体で持続可能な医療体制を確保するために、地域医療機関との連携強化・機能分担に対して積極的に取り組んでいます。

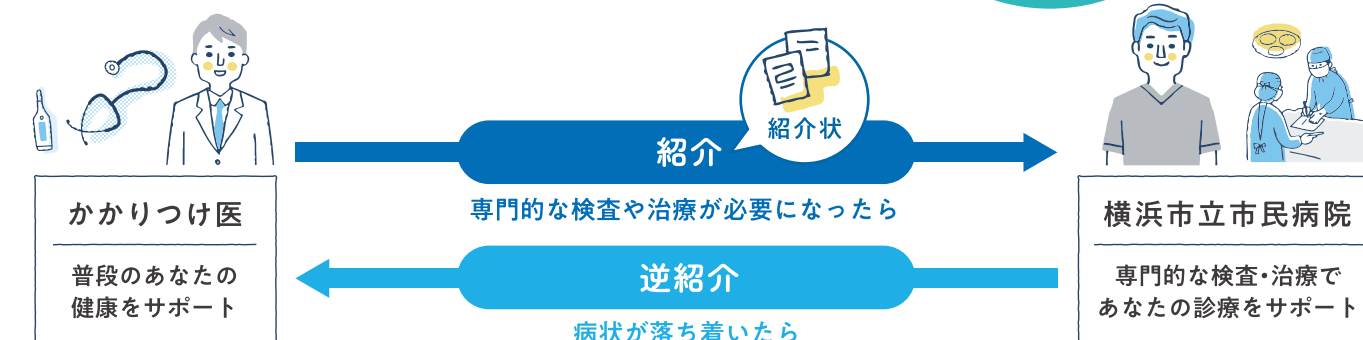


今後の医療需要の増加を見据え、誤えん性肺炎や尿路感染症、骨折などの高齢者が発症しやすい疾患については、市内13か所の連携医療機関(手つなぎ医療機関)への早期転院を推奨しています。
なお、転院先で病状が悪化した場合には、当院で受け入れを行いますので、ご安心ください。

患者総合サポートセンターの取組

病状が安定した患者さんは かかりつけ医などに紹介(逆紹介)いたします

当院は、急性期の患者さんや他の医療機関での治療が困難な患者さんをより多く受け入れる役割を担っています。そのため治療方針や処方内容が決まり、手術後を含めて病状が安定した患者さんは、ご紹介元のかかりつけ医、ご希望の地域の医療機関へ紹介させていただいています(これを「逆紹介」といいます)。
なお、かかりつけ医などへの逆紹介後も病状に変化があった場合には、紹介状をお持ちいただいたうえで、当院を受診することができますのでご安心ください。



登録医療機関をご紹介します

医療法人社団 浅野医院 (保土ヶ谷区)

【診療科目】内科、循環器内科、小児科、在宅療養、睡眠時無呼吸検査

当院は、地域の健康増進に真摯に取り組んでいます。
患者様に寄り添った診療をモットーに、問診や診察にも最善をつくしてお気軽にご相談いただけるクリニックづくりを目指しています。
上記の項目が当院で診療している内容となります。スタッフ一同、皆様のご来院をお待ちしています。何卒宜しくお願いいたします。

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	-	○	○	○
16:00~18:30	○	○	-	○	○	-

【休診日】水曜日、祝日、日曜日、土曜日午後

〒240-0054 横浜市保土ヶ谷区西谷三丁目23番33号

TEL:045-371-3018 自動電話での受付は18603-4570-3731(音声に沿ってボタンを押してください) URL:<https://asano.or.jp>

